

グループ討議の進め方

「法と人間科学」総括班支援室 2015.3.29

グループ討議の主旨

●有機的な交流

→へ～そんなおもしろいこと考えていたんだあ

→一緒に何か面白い研究したいな！

→もうすぐプロジェクト終了なので、研究の**絆**作りを！

●領域の活動アイデアを創出

楽しみながら当事者意識を育みましょう

今年のグループ討議の課題

**「法と人間科学のファイナル・イベント」
を企画する！**

keyword: 「コラボ」「インタラクティブ」
「未来へ」「外への発信」

※ただし、ビジュアル表現は問わない

何を発表するか

「法と人間科学のファイナル・イベント」

の広告ポスター(原稿)を作る！

★より多くの実務家や研究者を巻き込もう！

※ただし、ビジュアル表現は問わない

どうやって発表するか

- 選べる発表スタイル

1 模造紙・手書き



推奨

2 パワーポイント

討議～発表の流れ

- 0. 事前課題(ウォーミングアップと情報共有)
- ↓
- 1. 説明とウォーミングアップ…約5分
- ↓
- 2. ブレインストーミング+アイディアの整理…約70分
- ↓
- 3. 発表準備…約20分 (15:10までにスタッフへ提出)
- ↓
- 4. 発表…4分(質疑応答なし) 15:20～
- 5. 参加者全員で記念撮影 15:55～

1. ウォーミングアップ

● 自己紹介 (一人1分弱)

- ① ファシリテーターから開始
- ② **自分の名前** をいう
- ③ **1番好きなことorもの** をポストイットに書いて貼る
- ④ 次の人に **バトン(ペン)タッチ** 「はい、どうぞ」

グループ討議のルール



1.他人や自分のアイデアを**絶対**に批判しない
→どんなアイデアでもほめる



2.馬鹿げた思いつきでも**自由奔放に**、
口に出す

3.できるだけ**数多くの**アイデアを**思いつくままに**口に出す

4.他人のアイデアを**ヒント**にひねったり結合したりする

2. 課題に取り組む手順

- 課題「法と人間科学のファイナルイベントを企画する！」

① ピンクの付箋に項目を書いて用意しておく

「イベントタイトル」「対象」「コンテンツ」「方式」「プログラム」
※夢は大きく！でも、実現可能な形に集約しましょう。

② 自分たちが考えてきたアイデアを 黄色の付箋に書いてどんどん貼ってみる

①のどれでもやりやすいものから始めましょう

配布した討議ルールを思い起こして、
恥じらい、プライドを捨てて、どんどん発展させましょう！

2. 課題に取り組む手順

③たくさん出たアイデアを分類する



④発表準備：
分類しながらアイデアを補足する



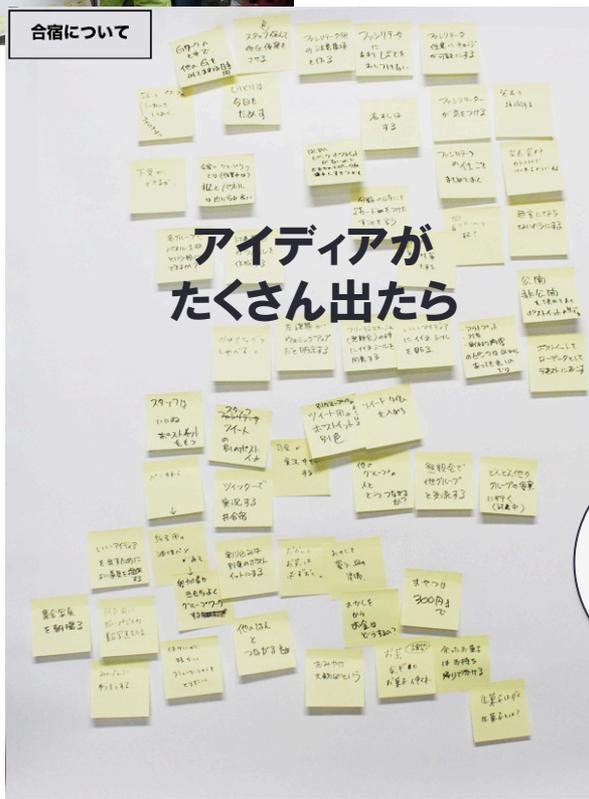
⑤発表スタイル(パワポ/模造紙)をスタッフに連絡



⑥発表:プレゼンターの人数は各班の趣向に任せる



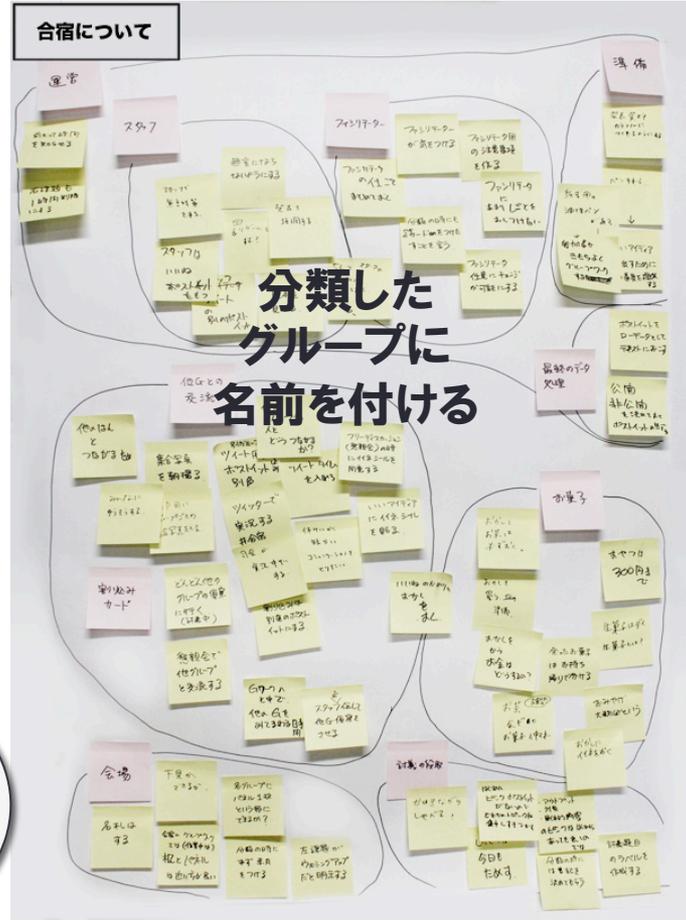
合宿について



アイデアがたくさん出たら

似た者同士の付箋を近くに集めて分類する

分類しながらアイデアを補足する



3. 発表準備

模造紙、パワポを仕上げたら、スタッフに教えてください。
(15:10まで)

1 模造紙・手書き

スタッフの指示に従って、所定の場所に掲示→スタッフが撮影
→撮影したデータをプロジェクタで投影→発表

2 パワーポイント

USBをスタッフに渡す(データ収集もかねて)
→パワーポイントで発表

討議方法についていろいろ書きましたが・・・

- 交流や討議をとにかく**楽しんでください**。
いいアイデアを生むためには楽しい雰囲気大切です！
- **形にとらわれすぎず**に、いいと思うアイデアをみんなにわかりやすく紹介してください。
→アイデアは、活用できるように支援室でデータベースとして管理します

4. 発表

- ・持ち時間は 1グループ**4分**です。
- ・発表はAから順に行うので、移動は速やかにお願いします。

**★発表の最後に全体での記念撮影があるので、
すぐに帰らないでくださいね(^^)**